

東北震災救援活動ボランティアの募集について

日本長老教会諸教会の皆様

頌主

東日本震災発生から3週間が経ちました。災害援助活動を行っているクリスチャンネットワークでありますCRASH (Christian Relief, Assistance, Support and Hope) は震災後の3週間の期間、宮城県、岩手県、栃木県、茨城県の震災地域5か所に拠点を立てて中長期的な救援復興活動を行うための調査を進め、これから一年以上の期間にわたって大規模なボランティアを派遣する準備を進めています。日本長老教会が加盟している日本福音同盟 (JEA) は「JEA東日本大震災対策室 (室長: 中台孝雄牧師)」を設けて、CRASHの援助活動に全面的に協力して諸教会から幅広くボランティアの募集を行うべく働きかけを始めました。

日本長老教会からも多くの兄弟方がこのボランティア活動のために起こされて、必要とされる援助の働きにチームが派遣されることを願っています。どうぞ諸教会において、ボランティアとして働いてくださる兄弟方がおられましたら、祈りつつ援助活動のために送りだして頂きますよう、心よりお願いを申し上げます。

CRASHは世界中で救援活動を行うクリスチャンをサポートするネットワークです。被災地でのボランティアの調整を行い、地域教会を通して中長期的な援助活動が行われるようボランティアチームを派遣しています。今回の東日本震災においては日本福音宣教協会 (JEMA) の認定を受けて、日本福音同盟 (JEA) 援助協力委員会と協力して援助活動を行っています。

今回のCRASHを通して派遣する日本長老教会の震災ボランティアチームの取りまとめを大会社会委員会が行います。

1. 現在募集されている援助の働きは以下の通りです。

A. フィールドボランティア

現地で2週間前後の期間、援助の働きを行います。働きの内容は、片づけ、引っ越し等の現地作業。被災地の子供たちへのケア。被災者への精神的なケアなど。それぞれ送られる働きに応じて必要な訓練が事前に行われます。

B. コマンドセンター

東京都東久留米市にある救援本部にて、事務、ボランティアコーディネーター、IT、会計、広報の働きを行います。

C. ベースキャンプマネージメントチーム

現地のベースの運営、現地の教会とのネットワーキング、現地の働きをコーディネートします。2週間の期間を最低とし、事前に2日程度の訓練を行います。諸教会におい